

令和5年度 外務省「外交・安全保障調査研究事業費補助金」（調査研究事業・安全保障分野） 「経済安全保障分野における主要国の動向（米中欧）と日本が採るべき政策」成果概要（1/3）

事業概要

3年事業、本年度は3年目

- 【研究の目的】：米国・欧州・中国が自国の産業基盤の強化策、機微技術の流出防止、輸出管理強化等の経済安全保障の関連施策を具体化しつつある中で、日本の安全保障への影響が特に大きい重要・新興技術分野における最先端の研究開発動向と当該分野における国際標準化・規制適用をめぐる議論の分析を中核に据えた調査研究を行い、今後国際規制の対象となりえる技術・物資を特定し、表出する可能性が高いサプライチェーン上のチョークポイントを把握する。
- 【事業実施体制】：研究者34名（事業統括者・調査研究班リーダー：佐橋亮・東京大学未来ビジョン研究センター・東洋文化研究所 教授）。関係分野の第一線で活躍する若手・中堅研究者17名で構成（若手9名、女性8名）。事業実施に当たり、政策動向班に加え、技術動向班を設け、政策・技術の両側面から各国動向を捉え直すとともに、日本へのあり得べき影響について検討を進めた。

実施状況

- 経済安全保障をめぐる国際動向、日本の関連政策で、国民の理解を増進しつつ日本の主張の世界への積極的発信するため、国内外の著名な有識者を招いた公開セミナーを計6回開催。最大276名規模の参加者あり、各回概要・動画をウェブ対外配信【参考①】。
- 国内外有識者（調査委員メンバーおよび大学内外の専門家）からの聴取・意見交換を行うため、7回の非公開の調査研究会をオンラインか対面形式で開催した。貴省からも複数の参加者がオブザーバーとして参加いただき、政策当事者との意見交換の場としても活用した。【参考②】
- 調査研究担当者によって、研究成果としてエッセイ、ワーキングペーパー、書籍、学会発表が合計23件発表された。【参考③】
- 当センターが持つ国際的ネットワークを十分に活用し、国内外の有識者と政府関係者を招き、外交、安全保障等の観点から国際ワークショップを3回実施した。

本事業の主要な研究成果（新たな知見・日本の政策への影響等）

- 【総論】米国、欧州、中国が自国の産業基盤強化、機微技術の流出防止、輸出管理の強化といった経済安全保障関連の施策を本格化させる中、日本の経済安全保障政策と科学技術政策は重要な転機を迎えている。本事業の最終年度には、こうした問題意識を持ち、関係国の動向に関する研究活動を推進するとともに、日本の政策についての対外発信にも積極的に取り組んだ。
- 【技術動向の把握】今年度は、当ユニットの技術動向班が企画したセミナー等を通じて、最先端の研究開発動向や、関連分野における国際標準化および規制の適用に関する議論を中心に据えた調査研究を実施し、特に、近年注目が集まっているAI産業の最新の動向や関連政策、日本の経済安保政策に対するインプリケーション、地政学リスクの下での日韓台サプライチェーン強靱性、中国のサプライチェーン戦略と日韓台企業の対応等について新たな知見が得られた。
- 【政策動向・日本の政策への示唆】米国、中国、欧州、韓国、台湾をはじめとする諸外国の経済安全保障政策について、近年の新たな情報や洞察を得ることができた。特に、政策動向班が主催したセミナー等を通じて、米国が主導する経済安保政策、中国の技術力向上に対する警戒心、技術流出の防止の重要性について理解を深めた。また、日米間での経済的威圧への対応をテーマにした公開セミナーでは、経済安全保障やエコノミックステイトクラフト、経済的威圧に関する概念を学び、それに対する対応策や日米、G7諸国の協力、官民連携の可能性についても貴重な知見を得ることができた。さらに、韓国や台湾の著名な有識者との非公開イベントを通じて、両国の経済安全保障政策の最新動向や日本との協力の可能性に関する率直な意見を交換することができ、今後の日本の政策検討に大いに役立つ示唆を得ることができた。

令和5年度 外務省「外交・安全保障調査研究事業費補助金」（調査研究事業・安全保障分野）
「経済安全保障分野における主要国の動向（米中欧）と日本が採るべき政策」成果概要（2/3）

【参考①】本年度に開催した主要な公開セミナー（6回）		2025年3月 東京大学未来ビジョン研究センター	
開催日	テーマ (※各回の概要・動画にリンク)	登壇者	参加者数
2024. 06.28	SSUフォーラム：「Book Launch: Upstart – How China Became A Great Power」 概要・動画： 日本語 ・ 英語	- 講演者：Oriana Skylar Mastro（Stanford University） - 討論者：益尾知佐子（九州大学） - 司会：佐橋亮（東京大学）	136名 (オンライン)
2024. 08.19	SSUフォーラム：「経済の威圧への対応：日米における議論を中心に」（Economic Coercion: Discussions in Japan and the U.S.） 概要・動画： 日本語 ・ 英語	- 講演者：塩尻康太郎（Wilson Center） - 討論者：久野新（亜細亜大学）、佐橋亮（東京大学） - 司会：佐橋亮（東京大学）	150名 (オンライン)
2024. 09.24	SSUフォーラム：「地政学の競争下の産業政策と通商秩序」 概要： 日本語	- 講演者：宗像直子（東京大学） - 司会：佐橋亮（東京大学）	47名 (対面)
2024. 10.03	SSUフォーラム：「米中対立と中国における産業政策の変容」（U.S.-China Conflict and Changes in China's Industrial Policy） 概要・動画： 日本語 ・ 英語	- 講演者：丁可（アジア経済研究所） - 討論者：菅原淳一（オウルズコンサルティンググループ）、Seungjoo Lee（韓国・中央大学） - 司会：佐橋亮（東京大学）	276名 (オンライン)
2024. 07.12	科学技術セミナー：「平和、安全保障と人工知能」（Peace, Security, and Artificial Intelligence） 概要： 日本語 ・ 英語	- 講演者：ヒメナ・ソフィア・ビベロス・アルバレス（メキシコ最高裁判所） - 司会：江間有沙（東京大学）	非公開
2024. 11.19	科学技術セミナー：「AIの作り方、AI企業の作り方」 概要： 日本語	- 講演者：伊藤錬（Sakana AI） - 司会：宮地ゆう（朝日新聞） - 開会・閉会挨拶：佐橋亮（東京大学）	非公開

令和5年度 外務省「外交・安全保障調査研究事業費補助金」（調査研究事業・安全保障分野）
「経済安全保障分野における主要国の動向（米中欧）と日本が採るべき政策」成果概要（3/3）

【参考②】本年度に開催した調査研究会（非公開）（7回）

2025年3月 東京大学未来ビジョン研究センター

開催日	テーマ	参加者
2024.06.24	「Research Roundtable: The University of Tokyo IFI Security Studies Unit Research and Stanford Next Asia Policy Lab」	（スタンフォード大学） Gi-wook Shin、Gidong Kim （東京大学） 佐橋亮、園田茂人、Phillip Lipsky、李昊、エミリー・チェン、院生・ポスドク
2024.06.25	「東アジア情勢についての意見交換会」	（スタンフォード大学） Michael McFaul、Oriana Skylar Mastro、筒井清輝 （日本側） 松田康博、佐橋亮、李昊（以上、東京大学）、福田円（法政大学）
2024.07.11	「日台の科学技術と経済安全政策についての意見交換会」	（台湾側） 洪春暉、林穎芬、何思穎（以上、資策会産業情報研究所） （日本側） 佐橋亮、魏慧婷、エミリー・チェン（以上、東京大学）、伊藤信悟（国際経済研究所）、町田穂高（パナソニック総研）、山田周平（桜美林大学）、江藤名保子（学習院大学）、菅原淳一（オウルズコンサルティンググループ）
2024.10.03	「第三回日韓科学技術と経済安全ワークショップ」	（日本側） 佐橋亮、鈴木一人（以上、東京大学）、伊藤信悟（国際経済研究所）、江藤名保子（学習院大学）、町田穂高（パナソニック総研）、三浦秀之（杏林大学）、篠田邦彦（政策研究大学院大学）、高山嘉顕（日本国際問題研究所）、丁可（アジア経済研究所）、山田周平（桜美林大学）、菅原淳一（オウルズコンサルティンググループ） （韓国側） Seungjoo LEE (Chung-Ang University)、Yongshin KIM (Inha University)、Seoin BAEK (Hanyang University)、Seongbin PAK (Ajou University)、Hyunjin LEE (Korea Eximbank)、Minjun PAE (LG Business Research)
2025.01.16	「中国の過去40年間の管理経済についての意見交換会」	馬曉野（中国の経済学者）、町田穂高（パナソニック総研）、飯田敬輔、佐橋亮、馬晨曦（以上、東京大学）、伊藤信悟（国際経済研究所）、山田周平（桜美林大学）、渡邊真里子（学習院大学）、伊藤和歌子（日本国際フォーラム）、福本智之（大阪経済大学）
2025.01.23	「Command of Commerce: America's Enduring Economic Power Advantage Over China」	Stephen Brooks（ダートマス大学）、五百旗頭薫、飯田敬輔、佐橋亮、遠藤乾、板橋拓己、李昊、吉本郁、Yee Kuang Heng、向山直佑、韓アラン、円光門、周家莉、Kang Kie（以上、東京大学）、玉置敦彦（中央大学）、青山瑠妙（早稲田大学）、江藤名保子（学習院大学）、安野正士（上智大学）
2025.03.10	「中国の政治経済現状についての意見交換会」	（インド側） Yogesh Kumar Joshi、Iqbal Singh Samyal、Kasim Shanaz、Nayantara D. Panda、Pragya Pratishtha (Center for Contemporary China Studies) （日本側） 李昊、Yee Kuang Heng、佐橋亮（以上、東京大学）、高原明生（東京女子大学）

【参考③】調査研究担当メンバー執筆によるエッセイ・ワーキングペーパー等（23件）

調査成果として、調査研究担当が執筆によるエッセイ・ワーキングペーパー、書籍、学会発表は23件であり、東京大学未来ビジョン研究センターの特設ページに掲載されている。

日本語：<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/projects/mofa-project/results/>

英語：<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/en/projects/mofa-project/results/>